

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

【研究責任者】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

聖路加国際病院 腫瘍内科 北野 敦子

【研究代表者】

聖路加国際病院 腫瘍内科 北野 敦子

「思春期・若年成人がん患者に対するがん生殖医療に要する時間および経済的負担に関する実態調査」に回答した方を対象とした研究

1.研究の対象

- ・2017年2月～5月までに実施された以下の調査に回答された方。
「がん治療後に子どもを持つ可能性を残す—思春期・若年成人がん患者に対するがん生殖医療に要する時間および経済的負担に関する実態調査」
(研究代表者 御船美絵 若年性乳がんサポートコミュニティ Pink Ring、共同研究者 北野 敦子 聖路加国際病院 腫瘍内科)

2.研究の目的・方法

目的：思春期・若年成人世代がん患者のがん・生殖医療に要する経済的負担の実態を明らかにすることを目的としています。

方法：本研究は上記の調査にご協力いただいた方の匿名アンケートの回答データを用い、解析いたします。

調査期間は聖路加国際病院研究倫理審査委員会承認後～2019年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、すでに実施された「がん治療後に子どもを持つ可能性を残す—思春期・若年成人がん患者に対するがん生殖医療に要する時間および経済的負担に関する実態調査」(上記)という匿名アンケートの結果を用います。

主なデータ項目は以下となります。

《情報》性別、がん罹患時の年齢、がん補助医療を用いた妊孕性温存実施の有無、妊孕性温存に要した費用、時間等

4.外部への試料・情報の提供

本研究のデータは、先行研究の実施団体である「若年性乳がんサポートコミュニティ Pink Ring」と共有いたします。また、研究助成元である公益財団法人がん研究振興財団がんホームページ上にも一部の結果を掲載します。

5.研究組織

若年性乳がんサポートコミュニティ Pink Ring 代表 御船 美絵